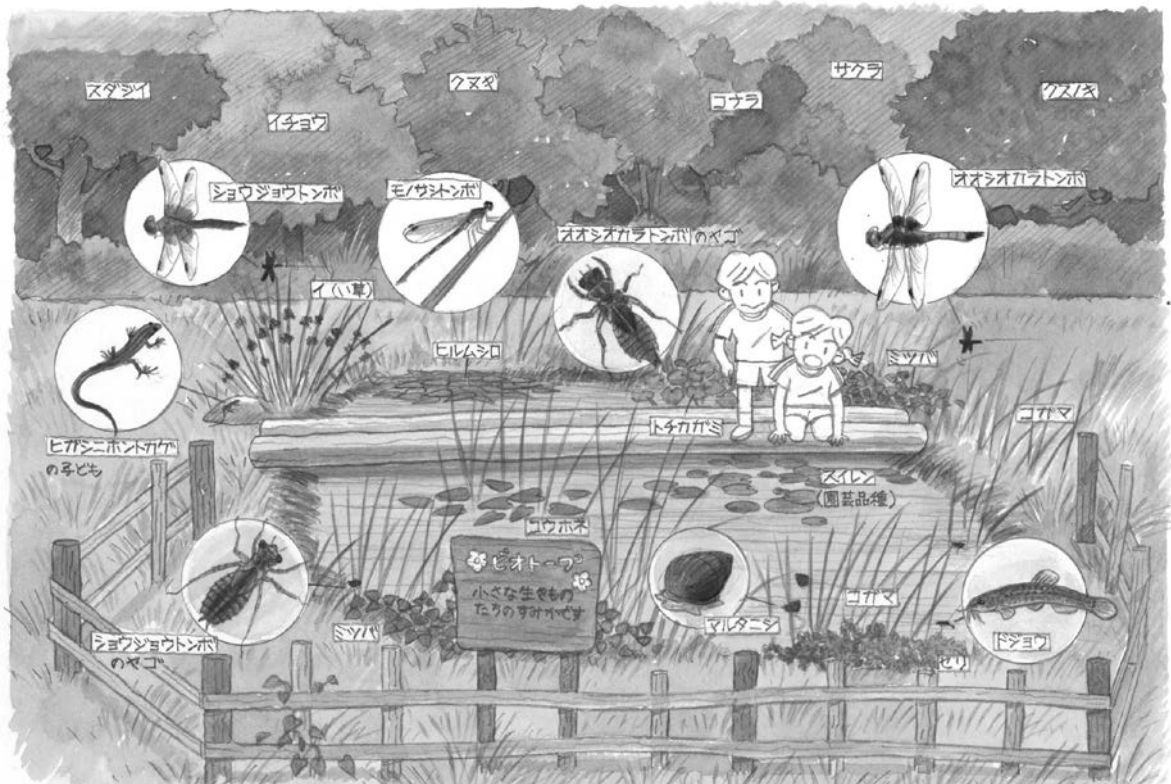


目黒区いきもの住民台帳

—身近に暮らすみどりのなかまたち—

め ぐる く
目黒区の
みず べ
水辺のいきもの

List of waterside organisms of Meguro City



地球のいのち、つないでいこう



いのち わ
ささえあう生命の輪 目黒区生物多様性

目黒区

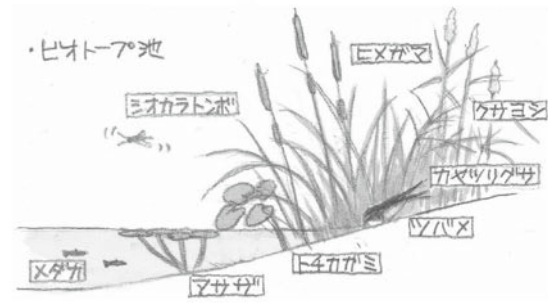
目黒区は、生物多様性地域戦略を定め、区民の皆様と協働による自然と共生するまちづくりを推進しています。その基礎資料とするため区内のいきものの変化を捉える身近な生物調査や専門機関によるみどりの実態調査※を継続しています。

「目黒区いきもの住民台帳」は、これらの調査の結果を区で記録された生物種名リストとして集計したものです。住民台帳の名は、身近な場所に暮らす『いきもの』たちを、私たちとともにすむ『目黒区の住民』として捉えたもので、2009年におよそ3000種類の動植物等を掲載した暫定版を公開しました。今回は、水辺に生息するいきものについて紹介するものです。水辺のいきものの分類や生態等の記述については須田真一氏(東京大学総合研究博物館研究事業協力者)にご監修いただきました。

いきものは、自然の中でそれぞれ欠かすことのできない固有の働きをしながら、地域の自然を形づくっています。気候の変動や樹木の減少など身の周りの環境の変化が見られる現在、いきものの記録は私たちのまちの自然の現状を知り、生物多様性※の保全・回復をすすめる資料として大変重要なものとなっています。

目黒区生物多様性地域戦略※「ささえあういのちの輪 野鳥のすめるまちづくり計画」では、野鳥を都市における生物多様性確保のシンボルとして捉え、エコロジカルネットワーク※の形成などを目指しています。この住民台帳が身近な環境に目を向ける機会となり、学習や地域活動の参考になれば幸いです。

作成にあたりご協力をいただきました須田真一氏ほか観察記録などの情報をいただきました多くの区民の方々、定点観測員※・自然通信員※、いきもの発見隊※・駒場野自然クラブ※等参加者、公園活動登録団体※、駒場野公園自然観察舎、中目黒公園花とみどりの学習館、区立小学校ほか皆様のご協力に感謝申し上げます。



目黒区都市整備部みどり土木政策課

目黒区は、東京23区の西南部に位置し、渋谷区、品川区、大田区、世田谷区に隣接します住宅系用途地域が8割以上を占める住宅地を主体としたまちで、面積は14.67km²、人口は281,317人(2021年1月1日時点)です。

総合庁舎のある上目黒2丁目は緯度35度38分、経度139度41分です。緑被率※は17.3%で東京23区中13位、水面が見える河川は、目黒川の大橋より下流、呑川の緑が丘3丁目の下流です。



図 目黒区の水系(2000:目黒区基本計画より)

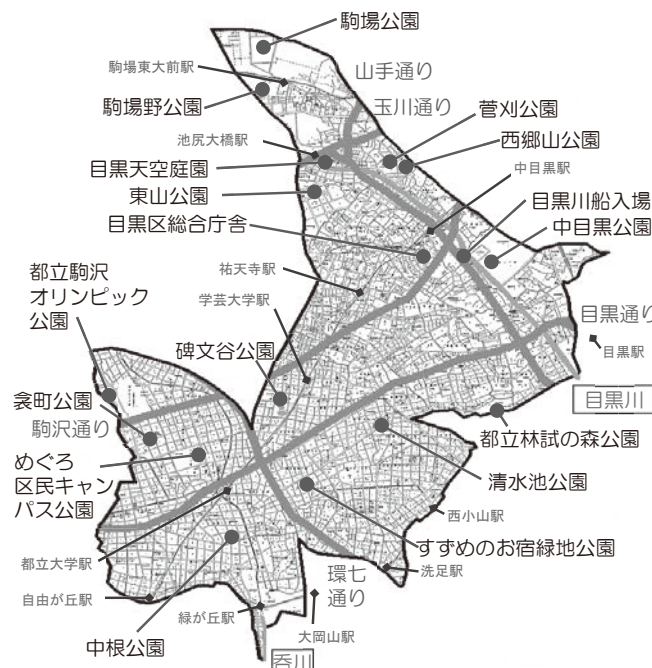


図 主な公園

* 用語説明 (区]は区の事業をあらわす)

いきもの発見隊 (いきものはっけんたい) イベント型住民参加調査。親子などの参加者が身近ないきものを探して記録し、自然の大切さや街に自然を呼び戻す工夫を考える [区]

エコロジカルネットワーク (えころじかるねつわーく) 散在する緑地を緑道や街路樹でつなぎ、いきものがすみ、移動できる緑地を効果的に配置した緑地のネットワーク(目黒区生物多様性地域戦略より)

公園活動登録団体 (こうえんかつどうとうろくだんたい) 公園の清掃・花壇管理等の維持管理活動や、地域住民を対象としたイベント企画運営活動を行うボランティア活動団体。「住民参加による公園活性化のための要綱」

駒場野自然クラブ (こまばのしぜんくらぶ) 駒場野公園の貴重な自然を地域の方の参加により守り伝える活動で、駒場野公園が開園した昭和61年から続いている。駒場野公園の雑木(ぞうき)林(ばやし)管理や自然観察などの活動を年間を通して行い、身近な自然とのふれあいやいきものとの出会い、草刈りや炭焼きなどの作業が子どもたちの貴重な原体験や学習の場となっている [区]

自然通信員 (しぜんつうしんいん) 身近な自然の観察記録を区に報告するボランティア。記録は生物季節や経年変化の把握などに活かされている [区]

生物多様性 (せいぶつたようせい) さまざまな「自然」が、そこに特有の「個性」をもついきものがいて、それぞれの命がつながりあっていること。食料や水の供給、気温等の安定、水質の浄化、私たち人間へのうるおいや安らぎの付与などの「生態系サービス」と呼ばれる「自然の恵み」は生物多様性の「バランス」の上に成立している

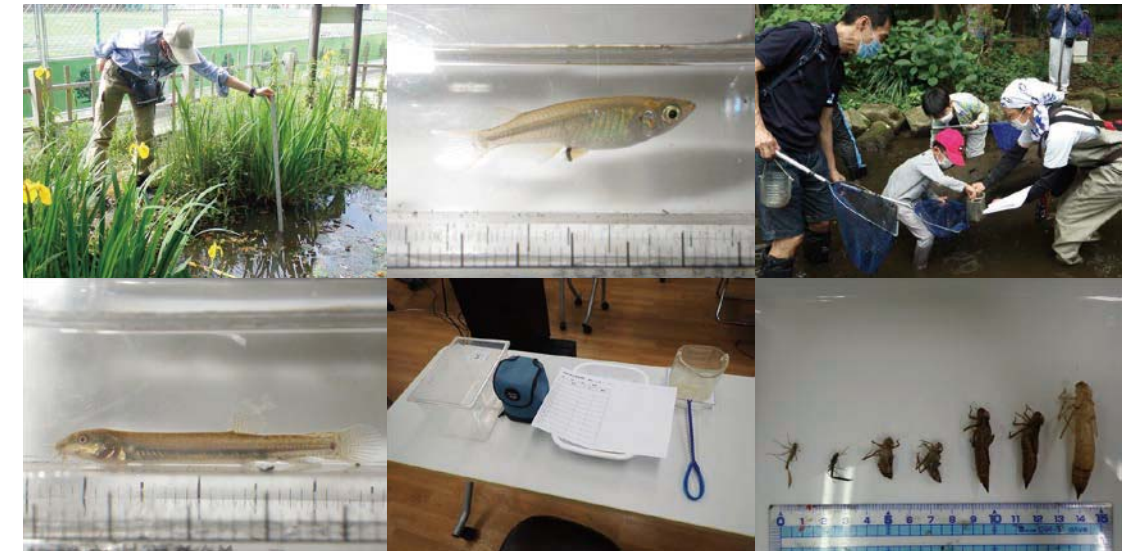
生物多様性地域戦略 (せいぶつたようせいいきせんりやく) 生物多様性基本法第13条に基づき、自治体が策定する生物多様性の保全に関する基本的な計画。目黒区では自然と共生する社会を目指し「目黒区生物多様性地域戦略 ささえあういのちの輪(わ)野鳥のすめるまちづくり計画」を策定している

定点観測員 (ていてんかんそくいん) 自然通信員のうち、公園や庭など身近な場所を観測地として、開花日、野鳥などの初鳴き日、初見日など四季の変化を継続的に観察するボランティア

みどりの実態調査 (みどりのじつたいちようさ) 目黒区みどりの条例に基づき、定期的実施する区内の緑の実態に関する調査。昭和47(1972)年度、52(1977)年度、60(1985)年度、平成4(1992)年度、16(2004)年度、26(2014)年度に実施している [区]

緑被率 (りよくひりつ) 上空から見て、樹幹や草地などみどりで覆われた面積が占める割合

みずべ 目黒区の水辺のいきもの



まえがき

淡水(真水)は地球上に2.5%しかないとされています(環境白書2010)。淡水は私たち人間をはじめとするあらゆるいきものにとってなくてはならないものです。そんな淡水がある「水辺」は、かつては非常に身近な遊び場、生活の場であったと思います。しかし、都市化が進んだ現在、「水辺」に出かける機会もめっきり減っているのではないのでしょうか。「水辺」は私たちの生活や文化とかかわりがあるだけでなく、人間以外のいきもの暮らしにも大きく影響を与えています。本書では、目黒区内の「水辺」を紹介し、そこで暮らすいきもの見分け方や暮らしぶりを解説していきます。本書を通じて皆さんが「水辺」とそこに暮らす「水辺のいきもの」たちをより身近に感じていただけたら幸いです。

●目黒区の水辺のいきもの	1	●コラム「水辺のいきものと水辺のかかわり」ほか	14
●水辺のいきもの検索表	5	●目黒区の水辺のいきもの(リスト)	17
●水辺の紹介	10	●身近な水辺環境といきもの(解析結果)	28
●区内のビオトープ	11	●参考資料等	29
●水辺ごとのいきもの暮らし	12		

写真 上段左：学校ビオトープ調査の様子、上段中：メダカ、上段右：いきもの住民会議の様子、
下段左：ドジョウ、下段中：調査物品、下段右：ヤゴの抜け殻

水辺のいきもの

グリーンデータブックでの「水辺のいきもの」とは河川や池、田んぼなど淡水（真水）域を利用するいきものの総称です。街の中で暮らしていると姿が見えないいきものもいますが、実は非常に多くのいきものが暮らしています。区民の皆様か

ら寄せられた情報は2020年1年間だけでも合計74種507件にのぼりました。このページでは「水辺のいきもの」それぞれの生態について解説します。

トンボ類

幼虫、成虫ともに肉食性。幼虫はヤゴと呼ばれ、水中で生活する。幼虫はミジンコから魚まで自分の体に合わせた大きさの獲物を捕食する。成虫は俊敏に空を飛び、空中で獲物の昆虫を狩る。いわゆる“トンボの目玉”は複眼と呼ばれるたくさんの目が集まって出来ており、視野がとても広い。水辺から離れた場所にも飛んでくるが、繁殖には水辺が不可欠。



クロスジギンヤンマ。大型種。水面付近の植物に産卵するため、プールでは見られない。



シオカラトンボ。最も身近なトンボの1つ。オスは全身水色だが、メスは黄色と黒色でムギワラトンボとも呼ばれる。



シオカラトンボの幼虫。池や河川、学校のプールまで様々な場所で見られる。上から見ると頭が角ばって見える。



ウスバキトンボ。毎年南方から飛んでくる。秋には空を埋め尽くすほど増えるが、日本本土で冬を越すことはできない。

水生昆虫

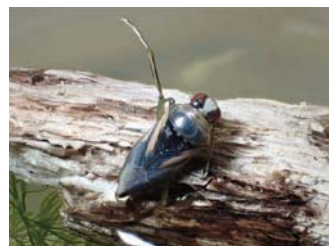
水生昆虫には幼虫期だけ水中で暮らすものと、成虫になっても水中（水面）で暮らすものがある。ゲンゴロウやアメンボの仲間は成虫になっても水辺で生活する。飛べるものがほとんどで、プールや水たまりにも飛んでくる。トンボの幼虫と違い基本的にエラ呼吸はできず、定期的に息をしに水面へ上がってきたり、呼吸をする管を水面に出したりしている。



ナミアメンボ。水面に落ちた虫を食べる。つまむと鉛のような重い匂いを出すのが名前の由来。



ハイロゲンゴロウ。飛翔性が非常に強く、小さな水たまりにも飛んでくる。



マツモムシ。水面を背泳ぎで泳ぐ。水面に落ちてきた虫を捕まえ、中身を吸い取る。



ケシカタビロアメンボ。体長2mmの小さな昆虫。水面をテクテクと歩いて獲物を探す。

水草

水中やその周辺に生育する植物のこと。沈水性、浮葉性、浮遊性、抽水性など、種類によってちがった姿を見せる。目黒区の水草は大部分が抽水性で、沈水性、浮葉性、浮遊性は少ない。



オモダカ。田んぼなどの浅い水辺に生える抽水植物。



カンガレイ。駒場野公園の池の埋土種子から復活した。繁殖力の強い抽水植物。



キシウブ。海外から来た。海外から来た。海外から来た。



ガマ。穂が熟すと数万粒の種が風に乗って飛んでいく。

水鳥

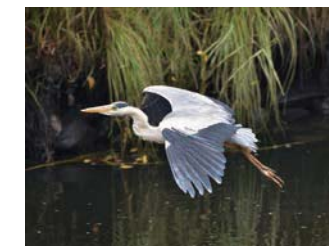
目黒区では主にカモ類、サギ類、セキレイ類などが水辺でよく見られる。食性は、水草や甲殻類を食べる雑食性から、魚を専門に捕らえて食べる魚食性まで種類によってさまざま。また、鳥類は渡りをするもの（渡り鳥）が多い。例えば、カモ類は冬鳥なので、冬は日本で過ごし、夏は中国やロシアへ渡る。



カワセミ。水辺の宝石と呼ばれる。水中に飛び込んで小魚を捕まえる。



カルガモ。区内のカモで夏にも見られるのはこのカモだけ。



アオサギ。日本最大級のサギ。大食い大きな獲物も丸呑みする



カワウ。水に潜るのが上手だが、飛ぶときはせわしなく羽ばたく。

淡水魚

一口に淡水魚と言っても、その生息域は多岐に渡る。目黒川をはじめ、海水の影響を受ける河川には、海から遡上してくるアユやボラ、マハゼのほか、海水にある程度耐性のあるコイなどが生息している。対して、湧水池や小規模河川では、流れの緩やかな水域を好むメダカやモツゴなどがみられる。



ボラ。海水と淡水が混ざった汽水の環境に生息する。



ミナミメダカ。田んぼや小川を代表する魚。水面付近を泳ぐ。



モツゴ。口先が尖っており、「クチボソ」の名で親しまれる。



コイ。水生昆虫や水草を食べつくしてしまう。外来種。

両生類・爬虫類

両生類と爬虫類は共に水中と陸を行き来する変温動物。

両生類は殻のない卵を産み、幼生の時は水中でエラで呼吸をするが、成体になるときに大きく姿を変え陸上生活になり、肺で呼吸をするようになる。代表的なものはカエルやイモリなど。爬虫類は殻をもった卵を産み、幼体の時から肺で呼吸をし、幼体も成体とほとんど同じ姿をしている。トカゲやヤモリ、カメなど。



ヒガシニホントカゲ。すべすべしている。幼体の尾は鮮やかな青色をしている。



ヒキガエル。早春のあたたかい雨の日に繁殖のため水辺に集まる姿が目撃されることが多い。



ニホンアマガエル。区内では限られた場所にしか生息していない。



ミシシippアカミミガメ。北米原産。日本国内の野外で最もよく見られるカメ。

甲殻類 (エビ・カニの仲間)

甲殻類の中でも、エビやカニの仲間は十脚目(じっしやくもく)と呼ばれるグループに分類され、多くは主に水辺で生活をする。一生を河川や湖沼などの淡水域で過ごすものや、幼生の間は海で過ごし、成長すると淡水域に移動して暮らすものがある。



ヌマエビ科の一種。国内では在来種と外来種が混在する。



アメリカザリガニ。水草を食い荒らし、環境を変えてしまう。



モクスガニ。繁殖期には海へ下るが、また川へ戻ってくる。

貝類

田んぼや小川などの小さな水辺には巻貝の仲間が分布している。硬い殻を持ち、危険を感じると殻の中に閉じこもる。石についた藻や落ち葉、魚の死体などを食べる雑食性。



ヒメタニシ。田んぼなどの一時的に干上がる所にも住む。



カワナの仲間。むやみな放流が問題となっている。



サカマキガイ。外来種。汚い水でも生きられる。殻は左巻き。

水辺のいきもの検索表

目黒区内でよくみられる「水辺のいきもの」の見分け方を紹介します。

トンボ類成虫

目黒区でよくみられるトンボ類を大きく4つのグループに分けました。各グループの中で似ている種の見分け方を紹介します。

アカトンボの仲間

羽に目立った色・模様がある

コシアキトンボ
体が黒色、腹に白色の帯模様

アキアカネ
胸の太いスジ模様は先が尖る、胸の赤みは薄い

ショウジョウトンボ
全身が赤色、羽の根元が濃いオレンジ色

ナツアカネ
胸の太いスジ模様は先が尖らない、胸の赤色が濃い

**リスアカネ
ノシメトンボ
コノシメトンボ
のいずれか**
羽の先が濃い茶色に染まる

ウスバキトンボ
胸に目立った模様なし

シオカラトンボの仲間

羽の色は薄く、目は青色(オス)/緑色(メス)

シオカラトンボ
メスは体が黄色く、ムギワラトンボと呼ばれる

オオシオカラトンボ
羽の根元と先、目は黒色、がっしりした体つき

ヤンマの仲間

ギンヤンマ
胸に目立った模様なし

クロスジギンヤンマ
胸に2本の黒スジ模様あり

オニヤンマ
目は緑色、体は黒に黄色の縞模様

ハグロトンボ
羽が黒一色、体は深緑色で金属光沢がある。オスとメスで腹の色が違い、オスは緑色、メスは茶色

イトトンボの仲間

腹節(ふくせつ) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

アジイトンボ
腹の9節目が青色

アジイトンボ
腹の背側の黒スジ模様は1節目まである

アオモンイトンボ
腹の8節目が青色

アオモンイトンボ
腹の背側の黒スジ模様は1節目に届かない

クロイトンボ
腹の8・9節目が青色

クロイトンボ
胸の背側に太い黒スジ模様

アジイトンボ
胸の背側に目立つスジなし

モノサシトンボ
腹の節に点のような模様あり、オスの腹の9・10節目が青白い

ヤゴ (トンボ幼体)

①アカトンボの仲間

目は丸く、背面から見ると楕円形に近い頭

ココの部分(腹)を見る

実際の大きさ (最大約27mm)

背側 腹側 腹の背中にトゲなし

背側 腹側 腹の6・7・8節目の背中にトゲあり

7節目 8節目 9節目

8・9節目に長く尖ったトゲがある

8・9節目には小さく短いトゲがある

8節目のトゲ先端は、9節目のトゲの根元を超える

8節目のトゲ先端は、9節目のトゲの根元にちょうど届く

ウスバキトンボ ショウジョウトンボ ナツアカネ アキアカネ

②シオカラトンボの仲間

背面から見た姿

目は角張り、背面から見ると台形に近い頭

ココの部分(腹)を見る

実際の大きさ (最大約25mm)

背側 腹側 4節目 5節目 6節目 7節目

オオシオカラトンボ

4・5・6・7節目の背側に明確なトゲがある

背側 腹側 4節目 5節目 6節目 7節目

シオカラトンボ

背側にはトゲがない

③ヤンマの仲間

キバの赤丸の部分はほぼ直角になっている

キバの赤丸の部分は緩やかな曲線

ウラカス裏返してアゴを見る

ギンヤンマ

クロスジギンヤンマ

実際の大きさ (最大約55mm)

アゴのキバはほとんど目立たない

アゴのキバは大きくギザギザ

オニヤンマ

オニヤンマとシオカラトンボ

オニヤンマのヤゴは、シオカラトンボのヤゴと姿かたちが似ている。が、よく見てみると...

④イトトンボの仲間

実際の大きさ (最大約23mm)

ココの部分(エラ)を見る

先端が尖る

先端が尖らない

アオモンイトトンボ

エラの一枚一枚はアジイトトンボと比べて幅広い

クロイトトンボ

エラの一枚一枚は幅広く先が丸みを帯びる一枚につき3つ、薄く斑紋が入る

アジイトトンボ

エラの一枚一枚はアオモンイトトンボと比べて細い

※アオモンイトトンボとアジイトトンボのヤゴは、エラの見分けが難しい

水生昆虫

大きさが1cm以上

大きさが2mmくらい

ゲンゴロウの仲間

ハイゲンゴロウ

ヒメゲンゴロウ

背中が灰色で、独特の模様がある

背中が黒茶色で、模様は目立たない

後ろ脚がオール状よく泳ぐ

ガムシの仲間

ヒメガムシ

マツモムシ

背中が黒色で、後ろ足が細い

背中に独特の模様があり、背泳ぎをする

体の形が丸く水中を活発に泳ぐ

体が細身で水面を歩き回る

ケシカタビロアメンボ類

大きさが5mmくらい

水面にいて体が細長い

アメンボ

ヒメアメンボ

背中が茶色で体は丸い

体が細身で逆さまに向いて泳ぐ

体はやや細身で水中を活発に泳ぐ

6つの長い脚が目立つ

4本の長い脚が目立ち、背中に独特な模様がある

4本の長い脚が目立ち体は細長い

ヒメイトアメンボ

シマアメンボ

アメンボ科

トゲは長い

トゲは短い

淡水魚

メダカ

頭から胸にかけて太い線が入る

メダカの鑑賞品種

体が全体的に黄色～橙色をしている

ヒメダカ

ブラックバス (俗称)

特定外来生物

トゲ状の背びれと柔らかい背びれをもつ

オオクチバス

アゴの骨は目より後ろに届く

コクチバス

アゴの骨は目の中心程度まで

ブルーギル

特定外来生物

成熟個体は鰓ぶたに青黒い模様が目立つ

子供のときは体に縞模様が入る

カダヤシ

特徴的な模様なし

フナ

フナの仲間

口ひげはない

ココに黒点がある

モツゴ

背びれと腹びれの根元が同じ位置

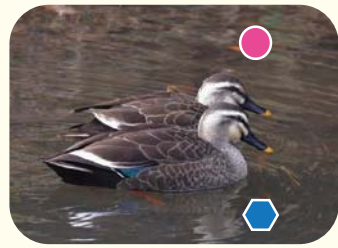
ドジョウ

細長い体で口ひげをもつ

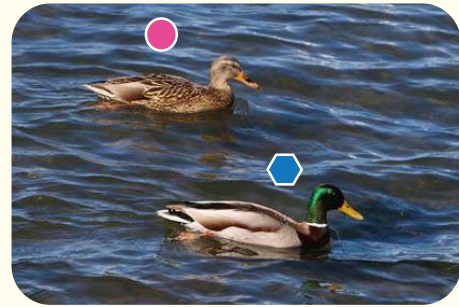
水鳥

● オス (留^{りゅうちよう}鳥:一年中見られる鳥)
● メス (冬^{ふゆどり}鳥:冬に渡ってくる鳥)

カモの仲間



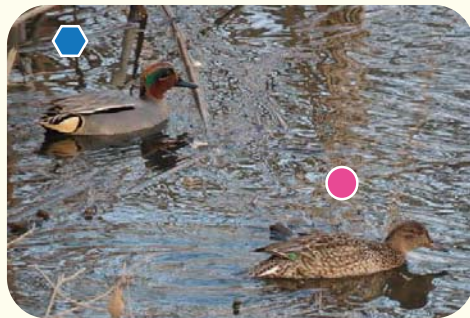
カルガモ(留)



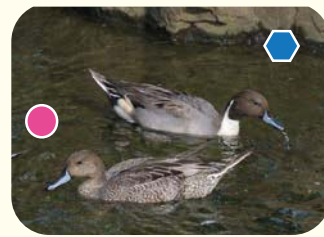
マガモ(冬)



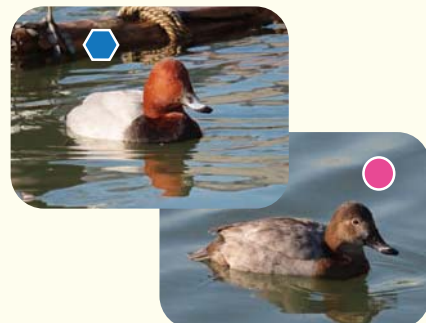
キンクロハジロ(冬)



コガモ(冬)



オナガガモ(冬)



ホシハジロ(冬)

サギの仲間



コサギ(留)
小型で足先が黄色い



ダイサギ(留)
大型で体が白い



アオサギ(留)
大型で体が灰色



ゴイサギ(留)
頭頂部が黒く、目が赤い

カモメの仲間



ユリカモメ(冬)
嘴と足が赤い



ウミネコ(留)
足は黄色で、尾羽に黒い帯



セグロカモメ(冬)
足はピンク色で、尾羽は白い

その他



カワセミ(留)



カワウ(留)

セキレイの仲間



ハクセキレイ(留)
ほっぺが白い



セグロセキレイ(留)
ほっぺが黒い



キセキレイ(留)
腹部が淡く黄色い



カイツブリ(留)
小柄でよく水に潜る



オオバン(冬)
足が大きい

両生類・爬虫類

カエルの仲間



ニホンアマガエル

- ・体色: 緑、茶色、灰色などさまざま
- ・特徴: 鼻から耳にかけて茶色のスジ
- ・環境: 田んぼ、池
- ・オタマジャクシ: 茶色、尾先が尖る



ヒキガエル

- ・体色: 茶色
- ・特徴: 体の表面にイボイボ
- ・環境: 池、街中、路上
- ・オタマジャクシ: 黒色、尾先が丸い



ウシガエル

- ・体色: 緑、茶色が混ざる
- ・特徴: 体が大きく、鼓膜も目立つ
- ・環境: 池、河川
- ・オタマジャクシ: 茶色、大きい



カメの仲間

ニホンシシガメ

- ・顔: 茶色で模様は無い
- ・甲羅: 1本のキールが目立つ



クサガメ

- ・顔: 黄色の模様があることも
- ・甲羅: 3本のキールが目立つ



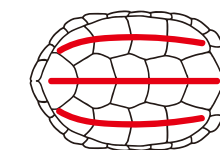
ミシシippアカミミガメ

- ・顔: 耳の位置が赤い
- ・黄色の模様がある
- ・甲羅: キールは目立たない



ニホンスッポン

- ・顔: 鼻先が尖る
- ・甲羅: 平たく円形で柔らかい



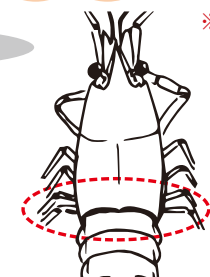
キール
…甲羅にある稜線

甲殻類 (エビ・カニの仲間)

アメリカザリガニ



尾びれの真ん中は幅広く台形に近い形をしている

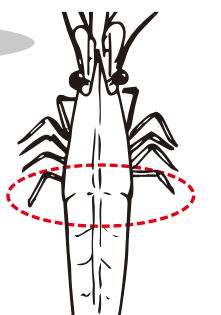


※ニホンザリガニは関東には分布しない
頭と尾のさかいめがハッキリしている

ヌマエビの仲間

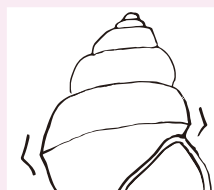


尾びれの真ん中は細長い三角形

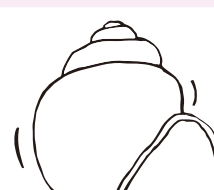


頭と尾のさかいめがハッキリしない

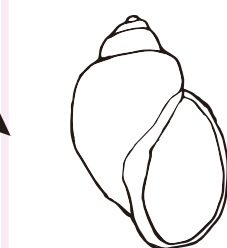
貝類



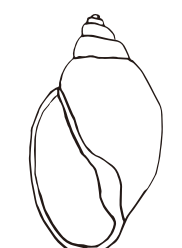
ヒメタニシ
螺層に角がある。



マルタニシ
螺層が丸い。



ヒメモノアラガイ
殻が右巻き。触角が三角形。



サカマキガイ
殻が左巻き。触角が糸状。

水辺の紹介

水辺とは主に淡水域（真水の水域）～汽水域（淡水と海水が混じる水域）の岸に近いところを指します。河川、湖、沼、池、湿原や水田などがあげられます。このうち、区内にある具体的な場所を紹介しつつ簡単にそれぞれの水辺の特徴を解説します。



河川【目黒川】

目黒川は烏山川と北沢川が合流する世田谷区池尻を上流端とし、目黒区、品川区を流れ、東京湾にそそぐ2級河川です。

護岸は大雨の時の洪水を流すため、コンクリートで整備されていますが、写真の船入場では、中洲を設置し野鳥の水飲み場、魚菜として整備されています。

いきもの発見隊を毎年実施し、水辺のいきものを調査しています。



池【林試の森公園、碑文谷池、清水池など】

水田等の灌漑用の池として活用された池もありましたが、現在ではその役割を終えています。

写真の林試の森公園では水を人工的に循環させているため少ないながらも流れがあります。池内には植物は生育していませんでした。シオカラトンボ、オオシオカラトンボの成虫が飛び、産卵している様子が目視で確認できましたが、ヤゴ類などの水生昆虫は見られませんでした。これは池内に多数いたカダヤシが卵を食べてしまっているものと思われる。



水田【駒場野公園】

お米のもととなるイネを育てる、水深の浅い湿地環境の水域です。

写真は23区内に残る数少ない水田で、ケルネル田んぼと呼ばれています。無農薬でイネを育てているため、多様な動植物が生育・生息しています。トンボ類の成虫やヤゴを始めとする水生昆虫も見られます。かつてはヘイケボタルが生息していました。メダカやモツゴも多数見られ、早春にはわずかに残った水たまりにヒキガエルが産卵しにやってきます。



ビオトープ【区内の学校、公園など】

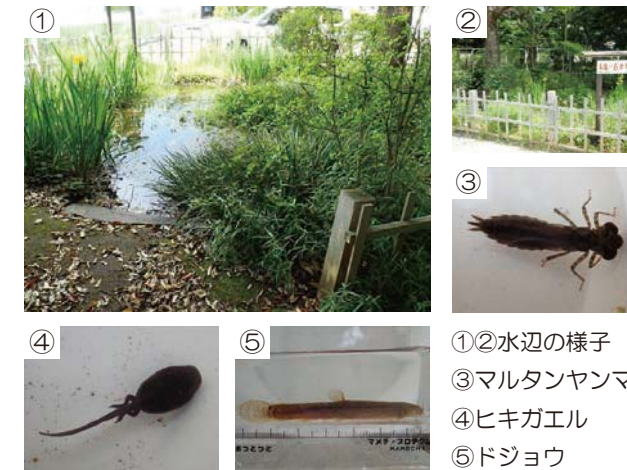
人の手によって作られた水辺で、水をためておくために厚手の防水シートで作られることが多いようです。流れがなく、河川など他の水域とつながっていないことがほとんどです。

目黒区では学校内に作られていることが多いので次のページで詳しく紹介します。

写真は菅刈公園にあるビオトープで、よく見ると岸にビニールがあらわれています。水底には落ち葉が堆積し、それを土台とした植物が見られたり、トンボのヤゴが数多く確認できました。

区内のビオトープ

区内の学校の多くでビオトープが作られており、児童・生徒たちが管理しています。また自宅に水辺を作っている方の情報を募集しました。学校や自宅につくられたビオトープをいくつか調査しましたのでご紹介いたします。



五本木小学校

防水シートで作られたタイプのビオトープ。透明度はありますが、枯れた水草等が覆い、水底はよく見えませんでした。給水は井戸や雨水ですが水量はそれほど多くないため、水道水を足すこともあります。陸地に一部黒いシートが露出しており、地面に植物は繁茂していました。落ち葉や植物の枯れた部分など堆積物が多く、水深は15cmほどでした。

ヒキガエルのオタマジャクシやドジョウ、マルタンヤンマとモノサシトンボのヤゴが確認できました。



緑ヶ丘小学校

防水シートで作られたタイプのビオトープ。透明度はありますが、枯れた水草等が覆い、水底はよく見えませんでした。給水は雨水や水道水。周辺は草地、および後背部に小高い樹林地（観察路あり）があります。堆積物が多く、水深は24cmほど。主に浮葉植物（園芸スイレン、ヒルムシロ、トチカガミ）と抽水植物（コガマ）で水面の大部分が占められています。池内で定期的な植物の抜き取り等の管理が行われていないためであると考えられます。ただ、これらの植物を利用し、複数種のトンボ類が産卵し、多くのヤゴが生息していると考えられます。

区民の自宅の庭

石組みで、池底はコンクリートでできた池（写真①）とプラ舟2台。周辺は草本類が繁茂していました。周辺の樹木が成長しており、適宜剪定が行われ、日差しはよく入ります。ヒメダカ（写真②）やキンギョが確認できました。池底に堆積物がないためかヤゴはいませんでした。一方プラ舟にはホテイアオイの堆積物があり、ヤゴが2種見つかりました。写真③はクロスジギンヤンマ。

区民の自宅の屋上

屋上に雨水をためたらい（写真①）をビオトープとして活用。写真②のたらいではチドメグサが繁茂し、枯死した堆積物の下からシオカラトンボのヤゴ（写真③）が見つかりました。近くを流れる目黒川から飛来した成虫が産卵したものと思われる。

コラム：水辺のいきものと水辺のかかわり

須田真一（東京大学総合研究博物館研究事業協力者）

昆虫を追いかけるときは父（孫七）が昆虫学者かつナチュラリストであったことの影響が大きい。物心ついた頃から父と一緒に近所や野山で昆虫採集などをしながら、昆虫をはじめとするいきものや自然環境の見かたや接し方、調査研究のやり方などを自然に覚えた。保全活動は、これだけ楽しませてもらっているのに微力ながらもせめてもの恩返し、という気持ちで取り組んでいる。著書に「フィールドガイド 日本のチョウー日本産全種がフィールド写真で検索可能 増補改訂版」監修として「野外毒本一被害実例から知る日本の危険生物 新装版」ほか、論文多数。

皆さんは「水辺のいきもの」とは、と聞かれた時にどんないきものを思い浮かべるでしょうか？ひとくちに「水辺のいきもの」といっても鳥や蛙、魚、昆虫など様々な仲間（分類群）や種類があります。さらに水辺とのかかわり（利用形態）には大きくわけて2通りの違いがあります。

まず、最初は水やえさを得る場所として水辺を利用するいきものです。生きていくために必要な水を得るために、水辺には多くのいきものが訪れます。さらに、それだけではなく、えさを探するために水辺を利用するいきものもいます（写真1）。その中には水を得るために集まってきたいきものを食べるために集まるものと、水辺に暮らしているいきものを食べるために集まるもの、そのどちらも行ふもの、がいます。

次は水辺で生活するいきものです。その中には一生のある時期だけ水辺で過ごすもの（写真2）と、一生水辺で過ごすもの（写真3）がいます。その中には水草の茂みが必要なものや、水がきれいな場所を好むものなど、種類によって違いが見られます。さらに、池などの止水域なのか、川などの流水域なのか、水辺の周りが森なのか草地なのか、などによっても異なります。

そのため、ある水辺でみられるいきもの種類を調べることで、その水辺の環境や周辺の環境とのつながりなどを知ることができます。特にそのことをよく示すいきものは「環境指標生物（自然を見るものさし）」として扱われています。

環境指標生物として適しているいきものとしてまず大切なことは暮らしぶり（生態）や環境とのかかわりがよく調べられていることです。

さらに種類数が少なかったり、調べられる時期などが限られてしまうと、ある部分しか知ることができないため、より広く環境のことを知るためには、ある程度種類数が多く、多様な環境を利用する種類がいて、調べられる時期が長いような仲間が適しています。そのような仲間はいくつかありますが、水辺の昆虫で何かひとつ挙げるとすれば、トンボが適しています。

トンボは水辺で卵を産み、幼虫（ヤゴ）は水中で過ごす水生昆虫ですが、羽化して成虫になると空を飛ぶ陸生昆虫となります。さらに多くの種類は羽化してからしばらくの間（未成熟期）や休息するときなどは水辺を離れて周辺の森や草地などで過ごすことから、水辺と周りの陸域双方の環境とそのつながりが保たれていない



写真1.水辺でえさを探すアオサギ



写真2.繁殖時のみ水辺を利用するアズマヒキガエル

と暮らしていくことができません。

種類によって水草の有無や周辺の環境、池なのか川なのか、などによっても細かく好みがありますので、さまざまなことを知ることがができます。さらにどんな街中でもある程度の水辺があればなにかしらの種類がいることや、幼虫の期間を含めるといつでも調査できること、幼虫や羽化殻が見つければその場所が繁殖していることが判ること、など多くのメリットがあります。さらに鳥などに比べれば暮らしていくために必要な環境の広がりなども小さく、世代交代のスピードも速いことから、より小さな環境の短期間での変化も知ることができますし、ちょっとした環境改善をするだけでもすぐに効果が表れますので、都市型の土地利用がなされ、新たに広々とした緑地や水辺を確保することが難しい目黒区のような場所においては、適した環境指標生物ということができるでしょう。



写真3.一生水辺で過ごすトウキョウダルマガエル

いきもの調べの記録のポイント

ある場所のいきものを調べたり、そこからいきものや環境の変化を知るためには、調べたことを記録する、ということが必要です。「しっかり覚えているから大丈夫」という人もいますが、記憶はそのうち薄れてきたり思い違えたり忘れてしまうものでもあるので、科学的な資料としては、記憶が鮮明なうちに何らかの形で記録しておくことが大切です。

いきもの調べ（ある場所やいきものを継続して調べることを「モニタリング」といいます）の記録のポイントとして一番大切なことは、「正確な記録を取る」ということです。ここで言

う「正確」とは、いきものの種名が正確、ということではなく、その時に見たことがその時点において正確に記録されている、ということです。種名が判らなかつたのであれば、色や形、大きさや行動など、判る範囲で書いておけば大丈夫です。最近はデジタルカメラが普及し、スマートフォンのカメラでも良い写真が撮れますので、姿形が判る程度であれば遠目でもいいのでとりあえず撮影しておくで後から見返して種名を調べたりすることができます。記録としての写真は生態写真（自然な状態で撮影したもので写真1）が撮れば一番いいのですが、種名がはっきり判る写真であればいいので、例えば昆虫であれば一旦捕獲してから撮影したもので構いません（写真2）。どちらの場合でも、種類によって見分けるポイントが異なりますので、できればアングルを変えて何枚か撮影しておくで良いでしょう。そのいきものが撮影できなかった場合でも、その場所の環境を撮影しておくで、そこから種類が絞り込めたりもしますし、行く度に撮影すれば環境の状況や変化を記録することにもつながります。

（次ページ上段へ続く）



写真1.生態写真（スズグロシロチョウ）



写真2.証拠としての写真例（スズグロシロチョウ）

いきもの調べの記録のポイント (続き)

記録する項目としては、いつ(日時)どんな時(天候など)どこで(場所)誰が(調査者)何を(対象生物)どうやって(調査方法)、というのが基本となります。加えて、どの位(個体数など)何をしていたか(行動など)の記録も取っておくと良いでしょう。

記録をするときには、なるべく同じもの(例えばフィールドノート)に同じ順番で記入するようにしておくと、整理したり見直しをするときに間違いや見落としが少なくなります。あらかじめ必要な項目を印刷した調査票を作っておくととても役に立ちます(図1)。筆記用具(できれば紙も)は耐水性のあるものを使うと、雨や汗などで濡れた時にも安心です。

あと、大切なこととしては、「いなかった場合も記録を取る」ということと「できるだけ証拠を残す」ということです。目的とするいきものがいなかった場合など、しばしば調査したことすら記録しないのですが、「調査した結果いなかった」というのはいきものデータとしては「いた」と同じ価値を持ちますので、調査したことはしっかり記録するようにします。

証拠が残っていれば後から検証することもできるのでより正確なデータとして扱えます。標本があれば一番良いのですが、作成や保管に手間が掛かることや採集ができないことなどもあります。微小な昆虫などは難しいのですが、デジタルカメラで撮影しておく、という方法が今のところ、一番手軽で適した方法になります。

ひとつひとつは小さな記録ですが、積み重なっていきもと思えなかったすごいことが判るかもしれません。いきもの調べで一番大切なことは、「ずっと見続けてそれを記録に残すこと」すなわちモニタリングを長期間継続すること、にあります。さらに多くの方々に見てもらえればより高密度で広域的に見ることもできます。皆さんも機会があればぜひ取り組んでください。

身近なチョウのモニタリング調査票		調査票No.1	
調査地:		□□区△△公園	
調査日:		2020/**/**	
開始時間:		10:30	
終了時間:		11:00	
天候:		晴れ・微風	
調査員氏名:		□□△△	

No.	種名	性別	行動	写真撮影	写真番号	備考
1	ヤマトシジミ	♂	E	○	EMGP0001	公園南入口付近のカタハミで吸蜜
2	ヘビシジミ	♂	F	○	EMGP0002	南側休憩所で飛んでいるところを採集して撮影
3	アオシジミ	不明	S	○	EMGP0003	南側休憩所から池の端
4	スジグロシロチョウ	♀	O	○	EMGP0004	池手前のイヌガランに産卵
5	クロアゲハ	不明	F	×		池から西側休憩所の隣の木立に沿って飛び去る
6	シジミチョウの一種	不明	E	○	EMGP0005	花壇の黄色い花に来たのを採集して撮影
7	セセリチョウの一種?	不明	E	×		メモ欄(1)参照

メモ欄
(1) 全身茶色で100円玉位の大きさ、後ろは丸の裏側に白い点が一列に並んでいる

行動凡例: 飛翔=F、静止=S、摂食(吸蜜)=E、交尾=P、産卵=O、不明=空欄

図1.調査票の記入例

●目黒区の水辺のいきもの(リスト)

(1)このリストについて

- 目黒区が保有するいきもの情報をもとに水辺のいきもの情報を抜粋して作成した。情報元は目黒区都市整備部みどり土木政策課が保有する自然環境等に関する記録をデータベース化し、2009年にホームページなどで公開した「目黒区いきもの住民台帳暫定版」を基本とし、2020年までの記録を加えてリスト部分を更新したもの。種の同定資料がないために従前のリストから削除した記録もある。
- 科の分類および科と科内の配列、学名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(2020年11月17日修正版公開)に従い、掲載されていない種の学名は出典を示した。
- 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト該当種は和名の後にランクを略称で記載した。略称とカテゴリー名と基本概念については表1(P.27)に示した。

(2)このリストの見方

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年以前	70年代	80年代	90年代	00年代	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
1 オオクチバス <i>Micropterus salmoides</i>			○	○	○											
	1982/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2004/3/17 (駒場2<駒場野公園>)															

- ① 通し番号
- ② わが国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種該当種には和名のあとにランクを記載した。
- ③ 2000年以降については年別の表記式で示した。○:目黒区内で確認された記録
- ④ 1920年以降の初記録と最新の記録を町丁目単位で記載した。
例) 初記録年月日(町丁目);最新記録年月日(町丁目)
丁目は町名の後に数字で示した。例)駒場1丁目→駒場1
公園など観察場所の明確な地名があるものはその名称を町丁目名のあとに記載した。
観察日の詳細記録がない場合は「-」で示した。例) 1972/6/-

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年以前	70年代	80年代	90年代	00年代	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
トンボ類																
1 オツネトンボ <i>Sympecma paedisca</i>				○												○
	1982/10/27 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2019/2/2 (駒場2<駒場野公園>)															
2 ホソミオツネトンボ <i>Indolestes peregrinus</i>			○	○	○				○					○	○	
	1982/10/20 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/10/26 (駒場3)															
3 アオイトトンボ <i>Lestes sponsa</i>								○	○							
	1990/6/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2012/11/10 (駒場2<駒場野公園>)															
4 オオアオイトトンボ <i>Lestes temporalis</i>				○					○					○	○	○
	1982/7/30 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/11/15 (駒場2<駒場野公園>)															
5 ハグロトンボ <i>Atrocalopteryx atrata</i>				○	○				○							○
	1999/7/18 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/8/15 (駒場2<駒場野公園>)															
6 モノサシトンボ <i>Pseudocopteryx annulata</i>			○	○	○	○	○	○	○	○			○			○
	1978/8/12 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2020/7/17 (洗足1)															
7 キイトトンボ <i>Ceriatagrion melanurum</i>				○	○	○										
	1982/6/12 (駒場2<駒場野公園>) ; 2007/7/29 (駒場2<駒場野公園>)															
8 クロイトトンボ <i>Paracercion calamarum</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/5/22 (駒場2<駒場野公園>) ; 2016/6/25 (中央町1<鷹番小学校>)															
9 アオモンイトトンボ <i>Ischnura senegalensis</i>													○	○		○
	2012/7/28 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/6/9 (上目黒2<目黒区総合庁舎>)															



五本木小学校で撮影された
アジイトトンボ



駒場野公園で撮影されたカワセミ

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
トンボ類																
10 アジアイトトンボ <i>Ischnura asiatica</i>		○	○	○	○	○							○	○	○	○
	1977/7/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/9/29 (碑文谷6)															
11 マルタンヤンマ <i>Anaciaeschna martini</i>																○
	2020/5/14 (五本木2<五本木小学校>)															
12 ヤブヤンマ <i>Polycanthagyna melanictera</i>			○	○	○		○									
	1999/7/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2012/7/19 (自由が丘1)															
13 ギンヤンマ <i>Anax parthenope</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/8/4 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
14 クロスジギンヤンマ <i>Anax nigrofasciatus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/5/12 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/10/13 (中目黒1<目黒川>)															
15 ウチワヤンマ <i>Sinictinogomphus clavatus</i>			○													
	1990/8/6 (駒場2<駒場野公園>)															
16 オニヤンマ <i>Anotogaster sieboldii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/9/29 (中目黒2<防衛省技術研究所>) ; 2020/8/17 (中目黒2)															
17 チョウトンボ <i>Rhyothemis fuliginosa</i>		○										○				
	1977/7/13 (鷹番3) ; 2016/7/3 (碑文谷1)															
18 ナツアカネ <i>Sympetrum darwinianum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/7/28 (中目黒2<防衛省技術研究所>) ; 2013/8/27 (駒場4<駒場公園>)															
19 リスアカネ <i>Sympetrum risi</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/9/27 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2012/8/19 (駒場2<駒場野公園>)															
20 ノシメトンボ <i>Sympetrum infuscatum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/9/27 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/7/1 (南3)															
21 アキアカネ <i>Sympetrum frequens</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1972/10/2 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/11/23 (中目黒2<中目黒公園>)															
22 コノシメトンボ <i>Sympetrum baccha</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1999/10/9 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>) ; 2018/6/29 (駒場2<駒場野公園>)															
23 ヒメアカネ <i>Sympetrum parvulum</i>					○											
	2010/10/15 (駒場2<駒場野公園>)															
24 マイコアカネ <i>Sympetrum kunkeli</i>		○														
	1982/7/11 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
25 ミヤマアカネ <i>Sympetrum pedemontanum</i>			○													
	1990/10/14 (駒場2<駒場野公園>)															
26 ネキトンボ <i>Sympetrum speciosum</i>				○												
	2004/7/27 (駒場4<駒場公園>)															
27 コシアキトンボ <i>Pseudothemis zonata</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1971/7/22 (大岡山2) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
28 ショウジョウトンボ <i>Crocothemis servilia</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/6/27 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/8/2 (三田2)															
29 ウスバキトンボ <i>Pantala flavescens</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/8/9 (洗足) ; 2020/10/20 (中目黒2<中目黒公園>)															
30 シオカラトンボ <i>Orthetrum albistylum</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1981/7/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/9/29 (青葉台1)															
31 オオシオカラトンボ <i>Orthetrum melania</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/6/10 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
水生昆虫																
32 マメゲンゴロウ <i>Agabus japonicus</i>						○										○
	2010/10/5 (八雲3<宮前小学校>) ; 2020/6/9 (上目黒2<目黒区総合庁舎>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
水生昆虫																
33 ヒメゲンゴロウ <i>Rhantus suturalis</i>			○													
	1982/7/29 (駒場2<駒場野公園>)															
34 ハイイロゲンゴロウ <i>Eretes griseus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/7/3 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/7/31 (駒場2<駒場野公園>)															
35 コシマゲンゴロウ <i>Hydaticus grammicus</i>			○													
	1982/9/9 (駒場2<駒場野公園>)															
36 ミズスマシ <i>Gyrinus japonicus</i>		○														
	1934/- (碑文谷1<立会川>)															
37 ヘイケボタル※1 *外(国内) <i>Luciola lateralis</i>														○		
	1992/5/12 (駒場2<駒場野公園>) ; 2017/4/16 (駒場2<駒場野公園>)															
38 ミズカマキリ <i>Ranatra chinensis</i>													○			
	2000/7/- (駒場3<駒場小学校>) ; 2017/12/25 (大岡山2)															
39 コミズムシ類 <i>Sigara sp.</i>					○											○
	1982/7/1 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2019/6/2 (駒場2<駒場野公園>)															
40 マツモムシ <i>Notonecta triguttata</i>				○									○			
	1998/4/- (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>) ; 2017/2/12 (駒場2<駒場野公園>)															
41 コマツモムシ <i>Anisops ogasawarenis</i>					○									○		○
	1998/6/16 (目黒1<田道小学校>) ; 2020/7/3 (中目黒1<目黒川船入場>)															
42 ヒメイトアメンボ <i>Hydrometra procera</i>														○		○
	1998/6/16 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>) ; 2020/6/20 (駒場2<駒場野公園>)															
43 ケシカタビロアメンボ <i>Microvelia douglasi</i>																○
	2020/6/20 (駒場2<駒場野公園>)															
44 ナミアメンボ <i>Aquarius paludum</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/5/12 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/5/28 (大橋2<目黒川緑道>)															
45 ヒメアメンボ <i>Gerris latiaabdominis</i>														○		○
	1998/6/16 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>) ; 2017/4/5 (駒場2<駒場野公園>)															
46 シマアメンボ <i>Metrocoris histrio</i>														○		
	2013/5/14 (駒場2<駒場野公園>)															
魚類																
47 アカエイ <i>Hemitygon akajei</i>																○
	2002/4/6 (目黒2<目黒川>) ; 2009/3/29 (下目黒1<目黒川>)															
48 ニホンウナギ <i>Anguilla japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1934/- (碑文谷1<立会川>) ; 2016/10/28 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
49 コイ *外 <i>Cyprinus carpio</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1934/- (碑文谷1<立会川>) ; 2016/10/28 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
50 ニシキゴイ *外 <i>Cyprinus carpio</i>																○
	2020/5/28 (大橋2<目黒川緑道>) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
51 キンプナ <i>Carassius buergeri</i>																○
	1950/- (<目黒川>)															
52 キンプナ <i>Carassius sp.</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1934/- (碑文谷1<立会川>) ; 2008/9/21 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
53 キンギョ *外 <i>Carassius auratus</i>																○
	1997/5/12 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/9/29 (青葉台1)															
54 タイリクバラタナゴ *外(100J) <i>Rhodeus ocellatus</i>																○
	1997/5/18 (駒場2<駒場野公園>)															
55 ハクレン *外 <i>Hypophthalmichthys molitrix</i>																○
	1982/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 1991/7/15 (碑文谷6<碑文谷公園>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
魚類																
56 オイカワ <i>Opsariichthys platypus</i>					○											
	2001/9/16 (中目黒1<目黒川>) ; 2006/10/8 (中目黒1<目黒川>)															
57 カワムツ *外(国内) <i>Candidia temminckii</i>																○
	2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
58 ソウギョ *外(100J) <i>Ctenopharyngodon idellus</i>									○							
	2013/7/25 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
59 アブラハヤ <i>Rhynchocypris lagowskii</i>																○
	2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
60 マルタ <i>Pseudaspius brandtii</i>				○	○		○	○						○	○	
	1996/8/13 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/6/2 (中目黒1<目黒川>)															
61 モツゴ <i>Pseudorasbora parva</i>	○		○	○	○	○		○	○	○	○				○	○
	1950/- (中目黒川) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
62 ドジョウ※2 <i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○		○	○	○	○				○					○	○
	1934/- (碑文谷1<立会川>) ; 2020/6/9 (上目黒2<目黒区総合庁舎>)															
63 ナマズ *外(国内) <i>Silurus asotus</i>			○	○								○				
	1982/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2016/6/4 (中目黒1<目黒川>)															
64 アユ <i>Plecoglossus altivelis</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1996/5/17 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/6/2 (中目黒1<目黒川>)															
65 ボラ <i>Mugil cephalus</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1994/3/4 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
66 カダヤシ *外(特・100J) <i>Gambusia affinis</i>				○	○											○
	1999/10/11 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/8/22 (下目黒5<東京都立林試の森公園>)															
67 グッピー *外 <i>Poecilia reticulata</i>				○	○			○								○
	1996/8/13 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/9/1 (駒場2<駒場野公園>)															
68 ミナミメダカ※3 <i>Oryzias latipes</i>	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
	1931/- (碑文谷1<立会川>) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
69 ヒメダカ※4 *外 <i>Oryzias latipes</i>				○												○
	1996/5/17 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
70 スズキ <i>Lateolabrax japonicus</i>				○	○											
	1996/8/13 (中目黒1<目黒川>) ; 2000/7/31 (中目黒1<目黒川>)															
71 ブルーギル *外(特・100J) <i>Lepomis macrochirus</i>				○	○	○					○	○			○	
	1982/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2019/10/20 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
72 オオクチバス *外(特・100J) <i>Micropterus salmoides</i>				○	○											
	1982/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2004/3/17 (駒場2<駒場野公園>)															
73 コトヒキ <i>Terapon jarbua</i>					○											
	2002/6/6 (中目黒1<目黒川>) ; 2005/9/17 (中目黒1<目黒川>)															
74 シマイサキ <i>Rhynchopelates oxyrhynchus</i>					○											
	2002/6/6 (中目黒1<目黒川>) ; 2002/9/22 (中目黒1<目黒川>)															
75 マハゼ <i>Acanthogobius flavimanus</i>					○	○	○		○		○	○		○	○	○
	1996/5/17 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/6/2 (中目黒1<目黒川>)															
76 スマチチブ <i>Tridentiger brevispinis</i>					○											○
	2002/5/25 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/10/20 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
77 スミウキゴリ <i>Gymnogobius petschiliensis</i>					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1999/5/30 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/6/2 (中目黒1<目黒川>)															
78 ビリンゴ <i>Gymnogobius breunigii</i>					○	○								○		
	1998/7/6 (中目黒1<目黒川>) ; 2018/5/20 (中目黒1<目黒川>)															
79 カムルチー *外 <i>Channa argus</i>					○											
	1991/7/15 (碑文谷6<碑文谷公園>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
水鳥																
80 ガチョウ[シナガチョウ] *外 <i>Anser anser</i>					○	○										
	1998/11/29 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2009/9/27 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
81 コブハクチョウ *外 <i>Cygnus olor</i>					○											
	1971/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>)															
82 オカヨシガモ <i>Anas strepera</i>															○	○
	2018/1/23 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/1/29 (中目黒1<目黒川>)															
83 ヒドリガモ <i>Anas penelope</i>					○											
	1985/9/26 (中目黒2) ; 1985/- (中目黒2)															
84 マガモ <i>Anas platyrhynchos</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1977/1/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2018/12/12 (駒場3)															
85 アヒル *外 <i>Anas platyrhynchos</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1977/3/26 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2015/11/22 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
86 カルガモ <i>Anas zonorhyncha</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1970/5/5 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/11/23 (中目黒1<目黒川>)															
87 オシドリ <i>Aix galericulata</i>																
	1997/12/8 (東山3<目黒川>) ; 1999/2/- (東山3<目黒川>)															
88 オナガガモ <i>Anas acuta</i>																
	1994/1/27 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
89 コガモ <i>Anas crecca</i>																
	1971/11/11 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
90 ホシハジロ <i>Aythya ferina</i>																
	1994/1/27 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/12/8 (中目黒1<目黒川>)															
91 キンクロハジロ <i>Aythya fuligula</i>																
	1995/1/17 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
92 スズガモ <i>Aythya marila</i>																
	2014/11/20 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/12/24 (中目黒1<目黒川>)															
93 カイツブリ <i>Tachybaptus ruficollis</i>																
	1981/12/10 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2019/11/21 (目黒2<目黒区民センター公園>)															
94 カワウ <i>Phalacrocorax carbo</i>																
	1983/3/28 (下目黒) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
95 ヨシゴイ <i>Ixobrychus sinensis</i>																
	1974/10/- (下目黒5<東京都立林試の森公園>)															
96 ミゾゴイ <i>Gorsachius goisagi</i>																
	1974/10/- (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2014/9/28 (下目黒5<東京都立林試の森公園>)															
97 ゴイサギ <i>Nycticorax nycticorax</i>																
	1972/4/21 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
98 ササゴイ <i>Butorides striata</i>																
	1978/7/16 (大岡山2<東京工業大学>)															
99 アマサギ <i>Bubulcus ibis</i>																
	1981/5/5 (目黒本町)															
100 アオサギ <i>Ardea cinerea</i>																
	1985/7/22 (大岡山2) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
101 ダイサギ <i>Ardea alba</i>																
	1971/2/25 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2019/10/20 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
102 チュウサギ <i>Egretta intermedia</i>																
	1985/5/30 (自由が丘2) ; 1998/7/8 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
103 コサギ <i>Egretta garzetta</i>																
	1973/4/24 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/12/8 (中目黒1<目黒川>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
水鳥																
104 クイナ <i>Rallus aquaticus</i>			○													
	1984/10/16 (目黒本町)															
105 ツルクイナ <i>Gallixrex cinerea</i>	○	○														
	1966/10/13 (目黒区) ; 1986/10/12 (駒場2<駒場野公園>)															
106 バン <i>Gallinula chloropus</i>																○
	2019/3/5 (中目黒1<目黒川>)															
107 オオバン <i>Fulica atra</i>					○					○	○	○	○	○	○	○
	2003/11/1 (中目黒2<目黒川>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
108 コチドリ <i>Charadrius dubius</i>	○				○											
	1941/6/28 (上目黒) ; 2001/7/5 (中目黒2<中目黒公園>)															
109 キアシシギ <i>Heteroscelus brevipes</i>		○	○													
	1973/10/19 (大岡山2<東京工業大学>) ; 1980/7/29 (大岡山2<東京工業大学>)															
110 イソシギ <i>Actitis hypoleucos</i>		○	○	○	○		○						○	○		
	1971/5/20 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2019/1/8 (中目黒1<目黒川>)															
111 アカエリヒレアシシギ <i>Phalaropus lobatus</i>			○													
	1984/5/- (目黒本町2<清水池公園>)															
112 ユリカモメ <i>Larus ridibundus</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1972/11/13 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2020/12/1 (中目黒1<目黒川>)															
113 ウミネコ <i>Larus crassirostris</i>				○	○	○	○									○
	1995/2/28 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/9/17 (中目黒1<目黒川船入場>)															
114 セグロカモメ <i>Larus argentatus</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1999/1/19 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/1/16 (中目黒1<目黒川>)															
115 コアジサシ <i>Sterna albifrons</i>		○	○	○	○	○					○					
	1979/5/28 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2015/7/1 (目黒本町2<清水池公園>)															
116 カワセミ <i>Alcedo atthis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1981/1/22 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2020/11/3 (中目黒1<目黒川>)															
117 オオヨシキリ <i>Acrocephalus orientalis</i>		○		○	○			○								
	1973/6/25 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2017/5/12 (大岡山2<東京工業大学>)															
118 コヨシキリ <i>Acrocephalus bistrigiceps</i>				○												
	1991/6/2 (駒場2<駒場野公園>)															
119 キセキレイ <i>Motacilla cinerea</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1970/10/9 (大岡山2<呑川>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
120 ハクセキレイ <i>Motacilla alba</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1968/12/- (大岡山2<呑川>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
121 セグロセキレイ <i>Motacilla grandis</i>		○	○	○								○	○	○		
	1972/10/8 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2019/1/16 (中目黒1<目黒川>)															
両生類																
122 ヒキガエル類※5 <i>Bufo japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1934/-/ (八雲3) ; 2020/7/18 (目黒本町2)															
123 ニホンアマガエル <i>Hyla japonica</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1934/-/ (碑文谷1<立会川>) ; 2020/7/31 (駒場2<駒場野公園>)															
124 ニホンアカガエル <i>Rana japonica</i>	○			○	○											
	1934/-/ (碑文谷1<立会川>) ; 2007/2/26 (青葉台2<菅刈公園>)															
125 ヤマアカガエル <i>Rana ornativentris</i>					○	○	○	○								
	2000/-/ (青葉台2<西郷山公園>) ; 2013/4/6 (中根2<中根公園>)															
126 トウキョウダルマガエル <i>Pelophylax porosus</i>					○											
	2003/8/13 (柿の木坂2)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
両生類																
127 ツチガエル <i>Glandirana rugosa</i>					○											
	2003/8/24 (柿の木坂2)															
128 ウシガエル *外(特・100J) <i>Lithobates catesbeianus</i>	○	○	○	○	○									○		○
	1942/-/ (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2019/6/2 (駒場2<駒場野公園>)															
129 シュレーゲルアオガエル <i>Zhangixalus schlegelii</i>					○											
	1998/6/27 (碑文谷1)															
130 アカハライモリ <i>Cynops pyrrhogaster</i>													○			
	2000/5/14 (中目黒1<目黒川>)															
爬虫類																
131 ニホンイシガメ <i>Mauremys japonica</i>					○										○	
	2007/11/15 (中目黒1<目黒川>) ; 2014/5/20 (中目黒1<目黒川>)															
132 クサガメ *外 <i>Mauremys reevesii</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/6/10 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2020/8/2 (駒場2<駒場野公園>)															
133 ハナガメ *外 <i>Mauremys sinensis</i>																
	2009/4/15 (中目黒1<目黒川>) ; 2009/10/9 (中目黒1)															
134 ニホンスッポン <i>Pelodiscus sinensis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/9/27 (中目黒2<防衛省技術研究所>) ; 2020/6/19 (駒場2<駒場野公園>)															
135 ミシシippアカミミガメ*外(特・100J) <i>Trachemys scripta</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1994/3/4 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/12/22 (中目黒1<目黒川>)															
136 カミツキガメ *外(特・100J) <i>Chelydra serpentina</i>					○	○										
	1991/7/15 (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2009/4/27 (中目黒1<目黒川>)															
137 カブトニオイガメ *外 <i>Sternotherus carinatus</i>															○	
	2016/10/28 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
138 ニホンヤモリ <i>Gekko japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1934/-/ (八雲3) ; 2020/5/8 (碑文谷2)															
139 ヒガシニホントカゲ <i>Plestiodon finitimus</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/4/7 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2020/6/18 (駒場2<駒場野公園>)															
140 ニホンカナヘビ <i>Takydromus tachydromoides</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1976/10/21 (大岡山2<東京工業大学>) ; 2020/11/8 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
141 アオダイショウ <i>Elaphe climacophora</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1943/-/ (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2020/6/27 (駒場2)															
142 シマヘビ <i>Elaphe quadrivirgata</i>	○	○													○	○
	1937/-/ (下目黒) ; 2020/5/10 (駒場2<駒場野公園>)															
143 ヒバカリ <i>Hebius vibakari</i>													○	○	○	○
	2009/6/10 (中目黒1) ; 2020/11/8 (駒場2<駒場野公園>)															
甲殻類																
144 スカエビ <i>Paratya improvisa</i>																○
	2005/5/22 (中目黒1<目黒川>) ; 2019/6/2 (中目黒1<目黒川>)															
145 スジエビ <i>Palaemon paucidens</i>			○	○											○	
	1982/12/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2016/10/28 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
146 テナガエビ <i>Macrobrachium nipponense</i>	○				○	○										
	1946/9/- (碑文谷6<碑文谷公園>) ; 2016/10/28 (碑文谷6<碑文谷公園>)															
147 アメリカザリガニ *外(100J) <i>Procambarus clarkii</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1977/4/19 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
148 サワガニ <i>Geothelphusa dehaani</i>					○	○	○									
	1997/9/5 (下目黒3<目黒不動尊>) ; 2013/10/20 (下目黒3<目黒不動尊>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
甲殻類																
149 クロベンケイガニ <i>Chiromantes dehaani</i>				○	○		○	○	○	○	○	○				○
	1999/10/11 (中目黒1<目黒川>) ; 2020/10/20 (中目黒1<目黒川>)															
150 モクズガニ <i>Eriocheir japonica</i>				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	1994/9/- (中目黒1<目黒川>) ; 2019/9/3 (中目黒1<目黒川>)															
貝類																
151 モノアラガイ <i>Radix auricularia</i>																○
	2020/6/9 (上目黒2<目黒区総合庁舎>)															
152 ヒメモノアラガイ <i>Fossaria ollula</i>					○											○
	2007/2/27 (青葉台2<菅刈公園>) ; 2020/10/13 (青葉台2<菅刈公園>)															
153 サカマキガイ *外(100J) <i>Physa acuta</i>		○		○	○								○			○
	1978/6/- (目黒1<田道小学校>) ; 2020/9/29 (青葉台1)															
154 インドヒラマキガイ *外 <i>Indoplanorbis exustus</i>				○												
	1996/10/3 (上目黒1<目黒川>) ; 1998/7/7 (青葉台2<目黒川>)															
155 カワコザラガイ <i>Laevapex nipponica</i>				○	○					○						○
	1996/10/3 (上目黒1<目黒川>) ; 2020/9/29 (青葉台1)															
156 マルタニシ <i>Cipangopaludina chinensis</i>				○												
	1997/7/28 (中央町2) ; 1998/8/31 (中央町2)															
157 カワニナ <i>Semisulcospira libertina</i>				○												
	1996/11/6 (緑が丘3<呑川>) ; 1997/3/6 (上目黒1<目黒川>)															
水生植物																
158 コウホネ <i>Nuphar japonica</i>				○												○
	1990/6/30 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
159 ヒツジグサ <i>Nymphaea tetragona</i>				○												
	1994/8/28 (下目黒5<東京都立林試の森公園>)															
160 ハングショウ <i>Saururus chinensis</i>				○	○	○	○			○	○					○
	1988/6/15 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/7/5 (駒場2<駒場野公園>)															
161 ショウブ <i>Acorus calamus</i>				○												
	1991/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2013/12/20 (駒場2<駒場野公園>)															
162 セキショウ <i>Acorus gramineus</i>				○	○	○	○	○		○	○					○
	1982/4/25 (下目黒1<大円寺>) ; 2020/5/14 (五本木2<五本木小学校>)															
163 アオウキクサ <i>Lemna aoukikusa</i>				○	○	○										
	1982/10/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2004/2/22 (大岡山2)															
164 ウキクサ <i>Spirodela polyrhiza</i>				○	○	○		○								
	1982/7/11 (駒場2<駒場野公園>) ; 2011/10/26 (青葉台3<菅刈小学校>)															
165 ヘラオモダカ <i>Alisma canaliculatum</i>				○												
	1982/10/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
166 オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i>		○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	
	1977/8/3 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/8/15 (駒場2<駒場野公園>)															
167 オオカナダモ *外(100J) <i>Egeria densa</i>				○	○	○	○		○							○
	1997/6/16 (中央町2) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
168 トチカガミ <i>Hydrocharis dubia</i>					○		○				○	○				○
	2006/6/13 (原町2<原町小学校>) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
169 ヒルムシロ <i>Potamogeton distinctus</i>					○		○			○	○	○				○
	2006/6/13 (原町2<原町小学校>) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
170 カキツバタ <i>Iris laevigata</i>				○	○			○	○						○	○
	1990/4/28 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/4/19 (駒場2<駒場野公園>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
水生植物																
171 キショウブ *外(100J) <i>Iris pseudacorus</i>				○	○	○	○	○		○	○					○
	1982/4/12 (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/5/14 (五本木2<五本木小学校>)															
172 イボクサ <i>Murdannia keisak</i>		○	○	○	○	○				○	○					○
	1977/9/26 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/9/20 (駒場2<駒場野公園>)															
173 ホテイアオイ *外(100J) <i>Eichhornia crassipes</i>					○										○	○
	1994/8/20 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2020/9/29 (青葉台1)															
174 コナギ <i>Monochoria vaginalis</i>				○	○	○	○	○		○	○	○				○
	1982/9/22 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/9/13 (駒場2<駒場野公園>)															
175 ミクリ <i>Sparganium erectum</i>				○												
	1982/6/9 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 1982/10/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
176 ヒメガマ <i>Typha domingensis</i>				○	○		○	○		○						
	1982/10/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2013/8/19 (青葉台2<菅刈公園>)															
177 ガマ <i>Typha latifolia</i>		○	○					○					○			
	1977/8/- (柿の木坂1<呑川柿の木坂支流緑道>) ; 2016/8/16 (中目黒2<中目黒公園>)															
178 コガマ <i>Typha orientalis</i>				○						○				○		○
	1982/6/10 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
179 コウガイゼキショウ <i>Juncus prismatocarpus</i>				○												
	1989/6/10 (駒場2<駒場野公園>)															
180 オニスゲ <i>Carex dickinsii</i>				○												
	1982/10/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
181 カサスゲ <i>Carex dispalata</i>				○												
	1994/5/16 (下目黒5<東京都立林試の森公園>)															
182 シュロガヤツリ *外 <i>Cyperus alternifolius</i>				○												
	1998/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
183 タマガヤツリ <i>Cyperus difformis</i>				○	○	○		○		○	○		○	○		○
	1982/10/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2016/9/27 (駒場2<駒場野公園>)															
184 カワラスガナ <i>Cyperus sanguinolentus</i>				○												
	1982/10/- (駒場2<駒場野公園>) ; 1986/9/7 (駒場2<駒場野公園>)															
185 マツパイ <i>Eleocharis acicularis</i>				○											○	
	1988/- (駒場2<駒場野公園>) ; 2016/9/27 (原町2<原町小学校>)															
186 ハリイ <i>Eleocharis congesta</i>				○												
	1989/7/20 (駒場2<駒場野公園>)															
187 クログワイ <i>Eleocharis kuroguwai</i>				○												
	1986/8/20 (駒場2<駒場野公園>) ; 1986/11/2 (駒場2<駒場野公園>)															
188 ホタルイ <i>Schoenoplectiella hotarui</i>				○	○											
	1989/8/13 (駒場2<駒場野公園>) ; 1998/8/- (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															
189 ヒメホタルイ <i>Schoenoplectiella lineolata</i>				○												
	1989/7/20 (駒場2<駒場野公園>)															
190 カンガレイ <i>Schoenoplectiella triangulata</i>				○						○						
	1982/6/29 (駒場2<駒場野公園>) ; 2007/8/27 (中目黒3<中目黒小学校>)															
191 フトイ <i>Schoenoplectus tabernaemontani</i>				○	○	○										
	1986/9/7 (駒場2<駒場野公園>) ; 2009/7/1 (中目黒3<中目黒小学校>)															
192 サンカクイ <i>Schoenoplectus triquetter</i>										○						
	2011/10/12 (五本木1<上目黒小学校>)															
193 アブラガヤ <i>Scirpus wichurae</i>				○												
	1982/10/- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
194 ドジョウツナギ <i>Glyceria ischyronera</i>				○												
	1982/10/- (碑文谷4)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
水生植物																
195 チゴザサ <i>Isachne globosa</i>				○											○	
	1998/- (呑川柿の木坂支流緑道) ; 2014/9/17 (駒場2<駒場野公園>)															
196 アシカキ <i>Leersia japonica</i>			○													
	1982/10- (碑文谷4)															
197 サヤヌカグサ <i>Leersia sayanuka</i>			○													
	1982/10- (駒場2<駒場野公園>)															
198 オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i>			○										○			
	1982/10- (目黒2<区民センター>) ; 2013/8/19 (青葉台2<菅刈公園>)															
199 クサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i>			○	○	○	○	○									
	1986/5/24 (駒場2<駒場野公園>) ; 2016/5/18 (駒場2<駒場野公園>)															
200 ヨシ <i>Phragmites australis</i>					○								○			
	2001/9/30 (中目黒2<中目黒公園>) ; 2014/9/17 (駒場2<駒場野公園>)															
201 マコモ <i>Zizania latifolia</i>					○											
	1991/9/10 (駒場2<駒場野公園>) ; 2013/8/20 (駒場2<駒場野公園>)															
202 マツモ <i>Ceratophyllum demersum</i>					○											○
	1997/7/28 (中央町2) ; 2020/5/14 (五本木2<五本木小学校>)															
203 バイカモ <i>Ranunculus nipponicus</i>				○												
	1982/8/4 (中目黒2<防衛省技術研究所>) ; 1982/10- (中目黒4<中目黒南緑地公園>)															
204 ハス <i>Opsariichthys uncirostris</i>													○			
	2017/8/3 (目黒本町2)															
205 アズマツメクサ <i>Tillaea aquatica</i>				○												
	1987/- (駒場2<駒場野公園>)															
206 クサネム <i>Aeschynomene indica</i>				○												
	1982/10- (大岡山2<東京工業大学>) ; 1982/11/11 (緑が丘2<東京工業大学>)															
207 ハンノキ <i>Alnus japonica</i>			○	○		○										
	1982/10- (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2013/4/26 (駒場2<駒場野公園>)															
208 ジャヤナギ <i>Salix eriocarpa</i>							○									
	2010/10/15 (駒場2<駒場野公園>)															
209 ミソハギ <i>Lythrum anceps</i>				○				○					○			
	1991/7/14 (駒場2<駒場野公園>) ; 2014/9/17 (駒場2<駒場野公園>)															
210 キカシグサ <i>Rotala indica</i>				○									○			
	1989/5- (駒場2<駒場野公園>) ; 2014/9/17 (駒場2<駒場野公園>)															
211 ヒシ <i>Trapa jeholensis</i>													○			
	2013/7/28 (駒場2<駒場野公園>)															
212 アカバナ <i>Epilobium pyrricholophum</i>															○	
	2013/8/19 (青葉台2<菅刈公園>)															
213 ヒレタゴボウ *外 <i>Ludwigia decurrens</i>															○	
	2013/8/20 (駒場2<駒場野公園>)															
214 チョウジタデ <i>Ludwigia epilobioides</i>				○	○	○	○							○		
	1982/10- (駒場2<駒場野公園>) ; 2016/9/27 (駒場2<駒場野公園>)															
215 タネツケバナ <i>Cardamine occulta</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1977/4/27 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2019/12/8 (駒場2<駒場野公園>)															
216 オランダガラシ *外 <i>Nasturtium officinale</i>				○		○										
	1982/2/28 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2004/4/6 (八雲1<めぐろ区民キャンパス公園>)															
217 ヤナギタデ <i>Persicaria hydropiper</i>				○		○	○					○	○			○
	1982/10- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2019/10/16 (駒場2<駒場野公園>)															

種名	目黒区の記録 観察年															
	69年 以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
水生植物																
218 ボントクタデ <i>Persicaria pubescens</i>					○											
	1996/9/20 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 1996/11/1 (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>)															
219 ミソソバ <i>Persicaria thunbergii</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1977/10- (駒場2<駒場野公園>) ; 2020/5/14 (五本木2<五本木小学校>)															
220 ミズハコベ <i>Callitriche palustris</i>				○						○			○			
	1986/11/2 (駒場2<駒場野公園>) ; 2016/5/18 (駒場2<駒場野公園>)															
221 アブノメ <i>Dopatrium junceum</i>					○	○	○						○	○		
	1998/8- (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>) ; 2019/8/17 (駒場2<駒場野公園>)															
222 カワヂシャ <i>Veronica undulata</i>					○	○				○	○		○		○	○
	1996/5/18 (駒場2<駒場野公園>) ; 2019/5/3 (駒場2<駒場野公園>)															
223 ミズトラノオ <i>Pogostemon yatabeanus</i>									○							
	2005/7/3 (駒場2<駒場野公園>)															
224 ミソカクシ <i>Lobelia chinensis</i>									○							
	1987/8/10 (駒場2<駒場野公園>)															
225 ミツガシワ <i>Menyanthes trifoliata</i>										○						
	1991/4/18 (駒場2<駒場野公園>)															
226 アサザ <i>Nymphoides peltata</i>					○	○	○	○						○	○	
	1995/6/27 (下目黒5<東京都立林試の森公園>) ; 2016/9/27 (原町2<原町小学校>)															
227 アメリカセンダングサ *外 <i>Bidens frondosa</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/10- (駒場3<東京大学駒場 I キャンパス>) ; 2015/8/25 (中目黒2<中目黒公園>)															
228 セリ <i>Oenanthe javanica</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1982/4/12 (碑文谷5) ; 2020/7/7 (緑が丘2<緑ヶ丘小学校>)															

- ※1 駒場野公園では90年代にヘイケボタルの放流が行われた。
- ※2 記録ではキタドジョウ *Misgurnus sp.* と混同している可能性がある。
- ※3 区内にはミナミメダカが在来種として生息していたが、現在は他地域個体群との交雑が進んでいる。
- ※4 ヒメダカ以外の改良品種なども含む。
- ※5 記録ではアズマヒキガエル *Bufo japonicus formosus* とニホンヒキガエル *B. j. japonicus* が混同している可能性がある。

表1. 目黒区の水辺のいきものリストにおける外来種カテゴリー表

※分類は「侵入生物データベース 日本の外来生物 (国立環境研究所 閲覧日2021年1月31日)」を参照した。

カテゴリー名	略称	基本概念
外来種	*外	人為的な移動により、本来の生息地でない地域に生息する生物。
特定外来生物	*外(特)	生態系や農林水産業等に被害を及ぼすおそれがあるものとして、外来生物法によって規定された外来生物。
日本の侵略的外来種ワースト100	*外(100J)	日本の外来種の中でも特に生態系や人間活動への影響が大きいものとして、日本生態学会が定めた外来生物。
国内外来種	*外(国内)	日本国内のある地域から、本来の生息地でない地域に持ち込まれた生物。

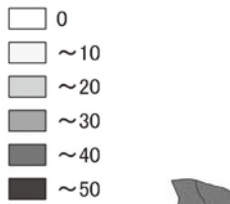
身近な水辺環境といきもの (解析結果) いきものが好きな水辺はどんな場所？

これまで見てきた水辺のいきものについて、1960年代から2020年末までの1372件のデータを用いて以下のような視点で解析を行いました。**・観察数の多い場所はどこか。・多く観察されている場所の環境*1はどのようなものか。**

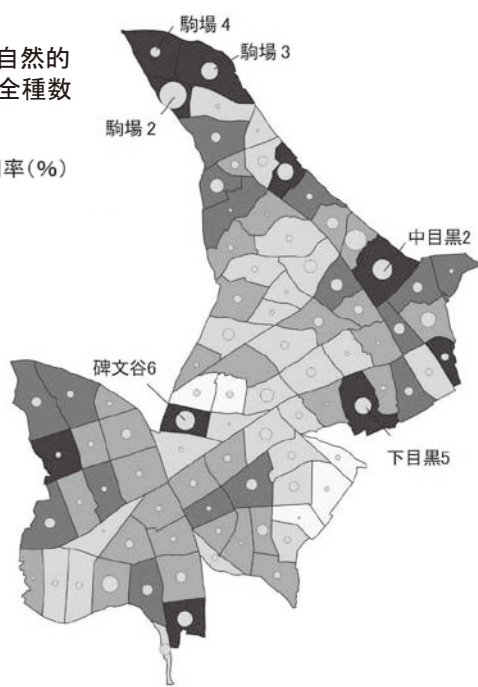
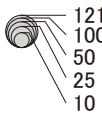
特に種数が多かったのは、駒場2丁目^{しゅうすう}で120種、中目黒1丁目^{ひもんや}で74種、中目黒2丁目^{ひもんや}で67種、碑文谷6丁目^{ひもんや}で63種、駒場3丁目^{ひもんや}で49種でした。

図1.町丁名別自然的土地利用と全種数

自然的土地利用(%)



全種数



町丁名ごとの自然的土地利用(緑被面積+水面が占める割合+裸地が占める割合)が高いと、水辺のいきもの出現種数が多い傾向がみられました(図1)。

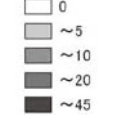
また、水生植物の多い町丁ではトンボと水生昆虫の種数が多い傾向が見られました(図2)。トンボや水生昆虫は水辺に生える植物の根元などに産卵します。目黒区でもただの水辺ではなく、産卵できる水生植物が生育している環境がトンボや水生昆虫にとっては大切であることが伺えます。

さらにトンボと水生昆虫については自然的土地利用率高い場所で出現種数が多い傾向があることから、水面の周りの環境もトンボと水生昆虫にとって重要であることが考えられます(図3)。

*1: 環境条件としてみどりの実態調査(目黒区:2015)を使用。

図2.町丁名別水草種数とトンボ種数

水生植物種数



トンボ種数

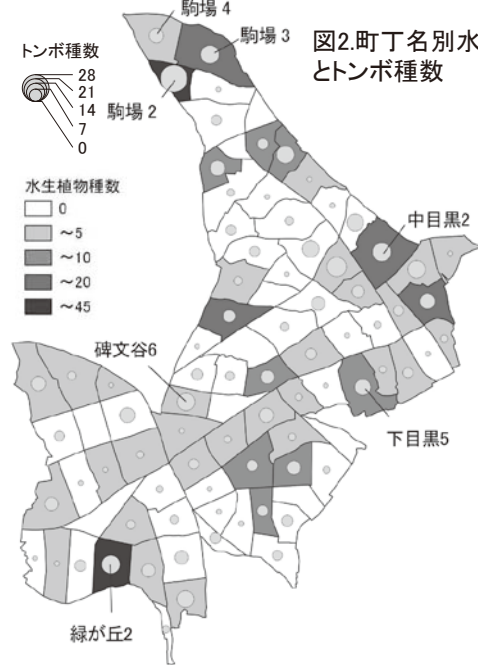
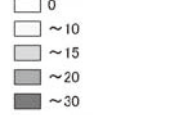
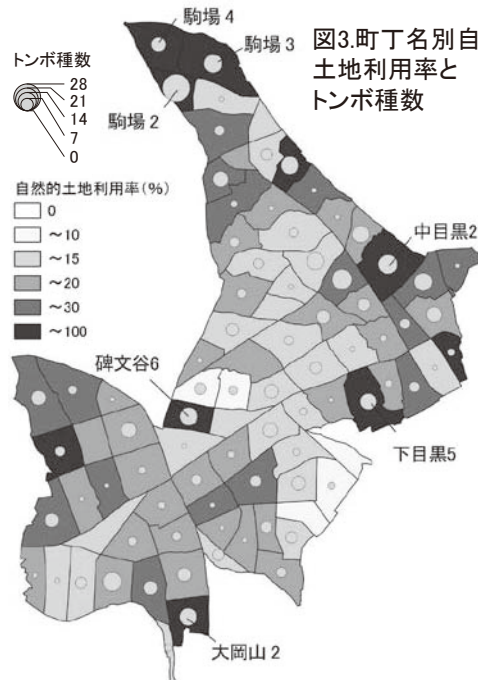


図3.町丁名別自然的土地利用とトンボ種数

自然的土地利用(%)



トンボ種数



水辺のいきものが好きなのはこんな場所！

- ① トンボや水生昆虫は水草が多い場所に多い
- ② 水面の周りの土地の使われ方もトンボや水生昆虫にとっては重要

●参考資料等

- 「日本のトンボ」(2012:尾園暁・川島逸郎・二橋亮)
- 「ヤゴハンドブック」(2019:尾園暁・川島逸郎・二橋亮)
- 「ゲンゴロウ・ガムシ・、ミズスマシハンドブック」(2017:三田村敏正・平澤桂・吉井重幸・北野忠)
- 「タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック」(2017:三田村敏正・平澤桂・吉井重幸・北野忠)
- 「日本の水生昆虫」(2020:中島淳・林成多・石田和男・北野忠・吉富博之)
- 「山溪ハンディ図鑑 増補改訂 日本の淡水魚」(2019:細谷和海・内山りゅう・藤田朝彦・武内啓明・川瀬成吾)
- 「決定版 日本の野鳥650」(2014:真木広造・五百澤日丸・大西敏一)
- 「日本のカエル+サンショウウオ類 増補改訂新版」(2015:奥山風太郎・松橋利光)
- 「山溪ハンディ図鑑 日本のカメ・トカゲ・ヘビ」(2007:松橋利光・富田京一)
- 「日本の淡水性エビ・カニ: 日本産淡水性・汽水性甲殻類102種」(2014:豊田幸詞・関慎太郎・駒井智幸)
- 「絵解きで調べる田んぼの生きもの」(2014:向井康夫)
- 「観察する目が変わる 水辺の生物学入門」(2016:西川潮・伊藤浩二)

- 「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(国土交通省 水管理・国土保全局 閲覧日2021年1月6日) <http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/-mizukokuweb/system/seibutsuListfile.htm>
- 「侵入生物データベース 日本の外来生物」(国立環境研究所 閲覧日2021年1月31日) <https://www.nies.go.jp/bio-diversity/invasive/index.html>
- 「日本の外来種対策」(環境省 自然環境局 閲覧日2021年2月5日) <https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

●目黒区の資料

- 「目黒区みどりの基本計画」(2016:目黒区)
- 「目黒区のみどりーみどりの実態調査報告書」(2015:目黒区)
- 「目黒区生物多様性地域戦略ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画」(2014:目黒区)
- 「めぐろのいきもの80選」(2014:目黒区)
- 「みどりの散歩道コースガイド改訂版」(2017:目黒区)
- 「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の野鳥」(2015:目黒区)
- 「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の蝶と蛾」(2016:目黒区)
- 「目黒区いきもの住民台帳 土をめぐる生物」(2018:目黒区)
- 「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の蜘蛛」(2019:目黒区)

- 「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の甲虫」(2020:目黒区)
- 「目黒区いきもの住民台帳 暫定版リスト」(2009:目黒区)

●観察記録資料

- 「街の自然12か月=目黒区の動植物ガイド」(1983:目黒区)
- 「目黒区産動植物目録=街の自然12か月資料編」(1984:目黒区)
- 「目黒区自然環境基礎調査(土壌生物写真調査)」(2000:目黒区資料)

●目黒区の生物多様性とみどりのまちづくりについて(野鳥のすめるまちづくり計画・いきもの住民台帳・みどりの実態調査・みどりの基本計画など)

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/tayosei.html>

●自然通信員について(事業の紹介、ニュースレターのダウンロードなど)

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/johokyoku/download.html>

●作成協力 須田 真一

●イラスト 水谷 高英
(区民による身近な生物調査環境学習資料)

●写真 佐伯 彰光
須田 真一
山田 和伸
株式会社自然教育研究センター
自然通信員のみなさんほか

●カラー版 ダウンロード
(ホームページでは観察記録の詳細も公開予定です)
http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/ikimono_daicho.html

